



# 学校だより 西北歳時記

長崎市立西北小学校 校長 立本 祐輔  
NO. 9 令和4年3月1日 発行



## 春は もうそこまで・・・

暦の上では「春」なのに、先週まで真冬並みの寒さが続きました。  
今週に入り、春の足音が少しずつ聞こえてきたようです。「別れと出会いの春」が近付いています。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、まん延防止等重点措置が3月6日まで延長されています。授業参観の中止や5年生の宿泊学習の延期など、保護者の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしております。

今後も感染対策を十分に行いながら、子どもたちが主体となる活動を可能な限り保障して、次のステップにつなげたいと思います。



## 第3回 全校句会

先週、第3回全校句会を行いました。「冬」をテーマに全学年とも力作ぞろいの中、見事に入賞した作品を紹介します。

先生特別賞

西北俳句大賞

優秀賞

優秀賞

優秀賞

優秀賞

大晦日 最後の一秒 大ジャンプ

六年

凍る中 ドアを開けると 別世界

五年

冬休み ヒーター戦争 始まった

四年

とどけたよ 神にねがいを はつもうで

三年

冬の朝 マスクごしでも 白いいき

二年

はつ日の出 ねむいまぶたを こすり見る

一年

おはようございます!!



## 「あいさつ」の話

子どもたちの登校に合わせて、双倉橋の信号機の所で立哨を続けています。

子どもが横断する際、可能な限りあいさつをしています。最近では、「おはようございます!」と、しっかりあいさつを返してくれる子どもが増えてきました。嬉しい限りです。

さて、1日のあいさつの中でも、この朝のあいさつは特別な意味があります。

なぜ「おはようございます。」だけが特別かということ、「こんにちは」「こんばんは」と違い、「おはよう」に「ございます」という丁寧な言い方が付くからです。

では、なぜ「おはようございます」にだけ、丁寧な言葉が付くのでしょうか?

それは「歌舞伎(かぶき)」から来ていると言われています。

「歌舞伎」は400年くらい前に始まった日本の伝統的なお芝居です。派手な服装とお化粧が特徴です。

この歌舞伎の役者さんは、派手なお化粧とか衣装の準備に時間が掛かるので、お芝居が始まる時刻より、かなり早めに芝居小屋にやって来ました。その際、芝居小屋で働いている裏方さんたちが役者さんたちに対して、いつも「お早うございますね。」と声を掛けていたのです。これは「本番が始まるまでまだ時間があるのに、いつも早く来て準備して大変ですね。ご苦労様です。」という意味です。



つまり、この「お早うございますね。」という言葉は、あいさつというより、むしろ相手を大切にする「思いやり」の気持ちが強く含まれているのです。

そして、この「お早うございますね。」が、いつしか「おはようございます。」に変化したと言われています。

どのあいさつも心を含めることが大切ですが、「おはようございます。」というあいさつは、特に相手のことを大切に思う気持ちが込められています。